令和4年度PDCAサイクル（2次性骨折予防チーム）

P

今年度の目標

「当院の脆弱性骨折に対する治療の現状把握」
「2次性骨折予防チームの発足と院内周知」

令和4年度チーム活動計画

①患者へ骨粗鬆症治療を提供する上での体制作り。
②「2次性骨折予防チーム」として、1～2回/月　多職種間で情報・データの共有、今後の方針等を話し合う。
③「2次性骨折予防チーム」としてのチーム活動する上での治療プロトコルの作成。
④骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有。

D

①患者へ骨粗鬆症治療を提供する上での体制作り

医師、看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士、栄養士、医事、医療秘書、医療ソーシャルワーカーによる2次性骨折予防チームを発足、チーム規定を作成する。また、他職種での患者把握を行うために、対象患者の一覧表の作成を行う。

②「2次性骨折予防チーム」として、1～2回/月　多職種間で情報・データの共有、今後の方針等を話し合う

毎月第3木曜日に検討会議を実施。問題点や改善点についての話し合いを実施した。検討会実施時には議事録の作成を行う。

③「2次性骨折予防チーム」としてのチーム活動する上での治療プロトコルの作成

他職種がどの時期に何をしているのかを把握できるよう、治療プロトコルの作成を行う。

④骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

イブニングセミナーにて院内外へのFLSに関する知識の周知を行った。また、整形外科病棟に対し医師による勉強会を実施し、骨粗鬆症や治療薬、FLSの意義などの基礎知識の周知を行う。

2名、骨粗鬆症マネージャーの資格取得に向けての学習を実施。骨粗鬆症学会への参加を行う。

C

①患者へ骨粗鬆症治療を提供する上での体制作り

他職種による体制作りを行った。また、チーム規定を作成した。

②「2次性骨折予防チーム」として、1～2回/月　多職種間で情報・データの共有、今後の方針等を話し合

今年度は検討会を9回実施した。

③「2次性骨折予防チーム」としてのチーム活動する上での治療プロトコルの作成

治療プロトコルを作成、現在修正を行っている。

④骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

イブニングセミナーにて院内外へのFLSに関する知識の周知を行った。また、西6病棟看護師に対し、医師による勉強会を実施することができた。

2名、骨粗鬆症マネージャーの資格取得に向けての学習を実施。骨粗鬆症学会への参加した。看護師2名は骨粗鬆症マネージャーの資格を取得することができた。

FLS導入時・導入後にFLSの進め方に関して外部講師を招き、他院での実施状況に関する情報提供や意見交換を行った。当院での体制作りやプロトコル作成に得た知識を活用することができた。

A

①患者へ骨粗鬆症治療を提供する上での体制作り

体制作りは終了。病棟編成あれば必要に応じてメンバーの増員を行う。

②「2次性骨折予防チーム」として、1～2回/月　多職種間で情報・データの共有、今後の方針等を話し合う

目標治療継続率を設定。来年度以降は目標に対する達成率の評価も実施していく。また、外来での治療の継続について追跡調査を実施する必要あり。追跡方法については来年度検討を行っていく。

③「2次性骨折予防チーム」としてのチーム活動する上での治療プロトコルの作成

現在プロトコル修正中。来年度完成を目指す。

④骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

来年度は看護師一名が骨粗鬆症マネージャー認定試験受験予定。

骨粗鬆症マネージャーを中心に、整形外科病棟を対象にリエゾンサービスに関する勉強会を1回/年実施する。